







平成29年4月-6月期・東員町商工会 中小企業景況調査結果（小売業）

売上額のD I 値は、前年同期比が±0.0、前期比が△25.0と差が出ている。来期見通しも±0.0と大きな回復は見込めない状況にある。採算（経常利益）のD I 値は、前年同期比及び来期見通しも±0.0と横ばいとなっており、現状維持で推移する見込みである。資金繰りのD I 値は、前年同期比で25.0、前期比は25.0と推移しているが、来期見通しは少し悪化して±0.0を見込んでいる。業況のD I 値は、前年同期、前期比及び来期見通しともに±0.0で推移し、現状維持の横ばいとなっている。三重県商工会エリア全体のD I 値は、全ての項目のD I 値がマイナスを示し、小売業の厳しさが見て取れるが、東員町商工会エリアでは、売上額の前期比のみがマイナスであり、三重県全域と比較すると景況感の良い状態にあると思われる。

東員町商工会エリア	今期（29年4-6月期）の状況				来期（29年7-9月期）の状況		
	項目	前年同期（28年4-6月期）と比較		前期（29年1-3月期）と比較		前年同期（28年4-6月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上額	±0.00	横ばい 曇り	-25.0	減少 雨	±0.00	横ばい 曇り	
採算（経常利益）	±0.00	横ばい 曇り	--	--	±0.00	横ばい 曇り	
資金繰り	25.0	好転 快晴	25.0	好転 快晴	±0.00	横ばい 曇り	
業況	±0.00	横ばい 曇り	±0.00	横ばい 曇り	±0.00	横ばい 曇り	

三重県商工会エリア	今期（29年4-6月期）の状況				来期（29年7-9月期）の状況		
	項目	前年同期（28年4-6月期）と比較		前期（29年1-3月期）と比較		前年同期（28年4-6月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上額	-21.9	減少 雨	-27.5	減少 雨	-12.5	やや減少 小雨	
採算（経常利益）	-34.2	悪化 雨	--	--	-39.5	非常に悪化 豪雨	
資金繰り	-34.1	悪化 雨	-30.8	悪化 雨	-25.6	悪化 雨	
業況	-32.5	悪化 雨	-40.5	非常に悪化 豪雨	-31.6	悪化 雨	

各項目の評価については次により表示した。

D・I値※	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～ △20.0	△20.1～ △35.0	△35.1～
区分	増加 好転	やや増加 やや好転	横ばい	やや減少 やや悪化	減少 悪化	大幅に減少 非常に悪化
天気図表示	快晴 	晴れ 	曇り 	小雨 	雨 	豪雨 

※D I 値は、増加・好転等の割合から減少・悪化等の割合を差し引いた値。

今期直面している経営上の課題については、重要度の高い1位に上がっているのが「消費者ニーズの変化」、「需要の停滞」、「その他」の3項目であり、小売業では常に問題点として認識されている項目が上がっている。三重県全域と比べると、順位に変動があるもの「需要の停滞」や「消費者ニーズの変化」は上位にあがっており、問題点としての重要度にズレはあまりない。なお、上位3項目を集計した表が下にあるが、「需要の停滞」が50.0%で他の項目は25.0%で並んでおり、問題点が分散化している。また、小売業では人に関する問題点は認識されていないように思われる。

重要度1位の項目

(%)

東員町商工会エリア		1位					
1位にあげる問題点	消費者ニーズの変化、需要の停滞、その他						
前期/今期	--		25.0				
三重県商工会エリア		1位		2位		3位	
1位にあげる問題点	大型店・中型店の進出による競争の激化		需要の停滞		購買力の他地域への流出、消費者ニーズの変化		
前期/今期	22.5	24.4	20.0	19.5	12.5	14.6	

重要度1位～3位の項目の集計

東員町商工会エリア		1位		2位	
1位～3位に上がった問題点	需要の停滞		購買力の他地域への流出、消費者ニーズの変化、商品在庫の過剰、仕入単価の上昇、代金回収の悪化、その他		
前期/今期	--	50.0	--	25.0	